

狩野旭峯 あさひのね、郷土史家。天保二年一月一日出羽國生れ、大正十四年一月一日没（八三二一九五）。韓史實、海軍徳藏。狩野良知（羽北）の弟。江戸の遊學し、江戸藩邸内日知館教授と務めた。戊辰戦では前線部隊長となり従軍。明治七年『選進新聞』發刊に盡力。爾後郷土史の研究、著述に従事。

著書に、『秋藩海軍古談』(明治二十六年)一月十九日秋田・秋徳堂、増補雄鹿古勝誌』(明治二十五年八月)二十日秋田・耕讀齋藏、大澤解進堂)等。

